

第7回特別支援セミナーが開催されました 2016年12月5

日



【東京大学先端科学技術研究センターの中邑賢龍教授】

平成28年12月3日（土）、福岡こどもたちのセーフティネット研究会主催の「第7回特別支援教育に関するセミナー」が、昨年に引き続き九州産業大学で開催されました。

立花高等学校「よさこい部」による演舞で開会したセミナーは、教育関係者や保護者など約400人が参加しました。

基調講演では、昨年に引き続き東京大学先端科学技術研究センターの中邑賢龍教授が、「スマホ時代の教育のあり方-変わる社会と変わらぬ学校-」と題して「スマホやタブレットPCが、生徒の学習へのつまずきを補うツールとなり、更には新しい能力を生み出す可能性を秘めている。多様性を認め、誰にとっても生きやすい社会を創ろう」と話されました。



【分科会の様子】

【九産大幸地英理子カウンセラーによる事例発表】

第1分科会「不登校」～生徒たちとの関わりの中での実践～では北星学園余市高等学校の安河内敏校長先生や秋桜高等学校の先生方が実践を発表されました。そのほかの分科会では、九産大経済学部経済学科秋山優教授がコーディネーターを務める接続支援や、学習支援、就労支援など5つのテーマに分かれ、それぞれ事例報告やパネルディスカッション

ンを行い、問題提起や情報を共有されました。